

令和2年12月

大学院国際社会科学府国際経済法学専攻
博士課程前期志願者 各位

横浜国立大学大学院国際社会科学府国際経済法学専攻

令和3（2021）年度 横浜国立大学 大学院国際社会科学府 国際経済法学専攻
博士課程前期 入学試験（第2次）実施方法の変更について

2021年2月19日（金）及び2月22日（月）に実施予定の入学試験については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、筆記試験、口述試験ともにオンラインによる受験も可能とします。

試験日程は募集要項の公開時と同様に、筆記試験は2月19日（金）、口述試験は2月19日（金）または2月22日（月）を予定しています。

オンラインによる試験の実施にかかる注意点等は、以下の内容を確認してください。なお、試験の実施方法の詳細については、出願者に個別に連絡します。

また、今後の状況の変化によっては、さらに変更を行う可能性があります、その場合も、出願者に個別に連絡します。

1. オンラインによる試験の実施方法等

(1) オンライン受験と来校受験の選択

※ 日本への入国が困難であること等の理由により、横浜国立大学（常盤台キャンパス）に来校して受験することが困難であると認められる受験者については、以下「2. 必要物品等（パソコンやスマートフォン、メールアドレスの使用）」の条件を満たす場合に限り、オンラインによる受験を認める。オンラインによる受験を希望する者は、WEB出願システムの履歴事項等「備考欄」に具体的な理由を添えて、出願時に申し出ること。

なお、横浜国立大学（常盤台キャンパス）での来校受験においては、筆記試験はオンラインではなく教室での通常の筆記試験の方法で実施する。その際には、他の受験者との距離の確保、試験室の換気、消毒用アルコールスプレーの設置等、新型コロナウイルス感染症対策を徹底する。来校受験における試験実施方法の詳細については、近日中に改めて公表する。

(2) オンライン受験による筆記試験問題は、Microsoft Teamsにより、試験監督がパソコン等上に表示する。受験者は、解答用紙に手書きで解答を記入し、解答終了後は、解答用紙を写真撮影し、それを大学に電子メールで提出する。

(3) オンラインによる筆記試験時間中は、試験監督者から指示がある場合を除き、パソコン等に触れることは禁止する。インターネットの閲覧、文献等の閲覧、第三者との相談等

は一切禁止し、それらを行った場合は、不正を行ったものとして扱う。

(4) 専門科目について、例年は試験会場において六法を貸与しているが、今回の入学試験においては、オンライン受験、来校受験とも六法の使用を禁止する。また、英語試験における辞書の使用も認めない。試験問題は、専門科目、英語ともこの点を前提に出題する。

2. オンライン受験のための必要物品等 (パソコンやスマートフォン・タブレット端末、メールアドレスの使用)

(1) 必要機器

以下の①及び②のそれぞれが必須である。

① パソコン (カメラ、マイク及びスピーカーが必要 (内蔵または外部接続どちらも可))。

※ 筆記試験問題はインターネットを用い、Microsoft Teams によりパソコン画面上で提示するため、画面上で試験問題文が読み取れるよう、小さい画面サイズのパソコンは避けること。

※ パソコンではなく、通信機能を備えたタブレット端末による代用も可とする。ただし、小さな画面の端末を用いる場合には、試験問題が読み取りにくくなる場合があることに留意すること。また、タブレット端末は、スタンドやカバーを用いて自立させること。なお、試験問題の画像を拡大する等の措置は取られないことがある。

※ ①の端末は、口述試験においても使用する。

② スマートフォン、またはカメラ付きの通信機能を備えたその他の端末 (タブレット端末、パソコン、携帯端末等。カメラ及びスピーカーは外部接続でも可)。②については、マイクは不要。

※ 筆記試験中のモニタリング用に使用する。②の端末は、カメラは常時 ON の状態とし、試験時間中の様子を録画するので、予め了承いただきたい。なお、仮想背景は禁止する。カメラは、パソコン (①の端末) の画面、受験者の手元、顔の 3 点を映像で確認できる位置に設置する。

※ ②の端末は、筆記試験終了後、解答用紙提出時にも使用する (解答用紙を写真撮影し、電子メールで送信する)。

(2) 必要環境

- ・ 常時接続できるインターネット回線 (通信容量上限設定により通信が切断等されないように注意)。試験時間中に通信が切断され、回復を試みても一定時間内に復旧しない場合は、その時点で当該受験者の試験を打ち切ることがあるので注意されたい。
- ・ ①及び②の端末の電源 (通信が切断等されないように充電ケーブルを接続した状態にすること)
- ・ Microsoft Teams アプリのダウンロード
- ・ 室内環境 (静謐な部屋であること。個室であること。不正行為が疑われるような物が置かれていないこと等)

(3) メールアドレス

- ・ 試験実施に使用できるメールアドレスを2つ (Gmail、Yahoo、Hotmail 等のフリーメールでも可)、登録すること。なお、主で使用するメールアドレスは、WEB 出願システムの入学願書「メールアドレス欄」に入力し、副で使用するメールアドレスは、WEB 出願システムの履歴事項等「備考欄」に入力すること。

(4) その他

- ・ 解答用紙

※ 受験者がプリンターを持っている場合、事前に解答用紙の PDF データを送るので、試験当日までに印刷して準備しておくこと。プリンターを持っていない場合は、受験者が白紙の用紙を用意すること。この場合、試験当日に受験番号・氏名等の必要事項を自分で記入し解答用紙とする。

出願書類の海外からの郵送について

海外から出願書類を郵送する場合は EMS を使用することを募集要項に記載していますが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で間に合わない可能性がある場合には、令和3年1月14日(木)までに下記問い合わせ先まで連絡をしてください。連絡のあった志願者につき令和3年1月13日(水)以前の発送記録がある場合は有効と認めます。また、その場合、あわせて令和3年1月14日(木)までに別途電子データで出願書類を下記問い合わせ先に送付してください。

問い合わせ先：横浜国立大学社会科学系大学院学務係 (int.gakumu-all@ynu.ac.jp)